

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

日野町の自然を知ろう！

▼第3回おしどり学園



▲日野町の豊かな自然について語る神庭館長

11月20日、第3回おしどり学園を開きました。

今回は、「日野町の自然を知ろう」と題し、町公民館の神庭賢一館長が講演を行いました。

日野町には、滝山公園、鵜の池公園、宝仏山など、県立または国立公園に指定されている豊かな自然があり、日野川にはオシドリをはじめ、たくさん冬鳥がやってきます。そんな日野町の素晴らしい自然について紹介をしてみたいと思います。

はじめに、滝山公園の湿地ビオトープに生息す

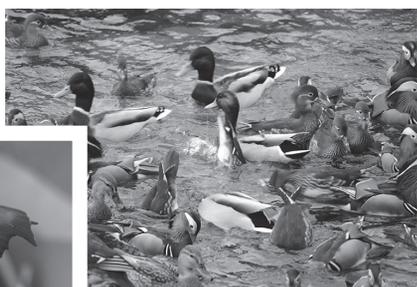
るハッチョウトンボをはじめとした、さまざまなトンボの生態や保護についての話がありました。また、夏の夜には滝山神社のスギ林がヒメボタルの光で美しく彩られることや、春のはじめのお勝ヶ池でヒキガエルの集団産卵が行われている様子を紹介するなど、学園生が初めて耳にする情報も多くあつたようです。

晩秋になるとたくさんの冬鳥がやってくる日野川ですが、すでにオシドリ

をはじめ、トモエガモ、マガモ、キンクロハジロ、カワアイサ、ホシハジロなどのカモ類が次々と飛来してきています。そのほか、オヤニラミ、スナヤツメ、ヤマメなどの魚類をはじめとした水生生物が、互いに関わり合いながら生命をめぐっている日野川の魅力について語りました。

最近の地球温暖化の影響を受け、南方系のチョウの仲間のクロコノマチョウやイシガケチョウが日野町で見られたり、昨年まではたくさん見られたイトトンボの数が激減したりと、自然への影響がかなりあることなどの環境問題についての話もありました。

学園生は、日野町の自然を知る良い機会になったとともに、この豊かな自然と共存し、保護していくためにはどうすればいいのかを考えるきっかけとなったようです。



◀南方系のチョウの仲間
クロコノマチョウ

▶日野川に
飛来した
オシドリ

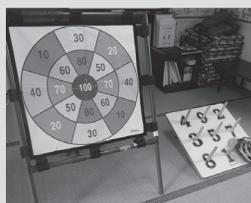


出前公民館

ニュースポーツで健康づくり



▲ターゲットゲームや輪投げを楽しみ、笑い合う参加者の皆さん



11月9日、黒坂2区集会所で、出前公民館「ニュースポーツ」を開催しました。

当日は、全員がゴム手袋を着用してプレーをするなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとり実施。講師の高橋伸也さん（野田）の指導のもと、輪投げやターゲットゲームなどのニュースポーツで汗を流しました。

参加した13人の皆さんは、一投一投に勝負心を燃やしながらも、和気あいあいとした楽しい雰囲気なかで、健康づくりに取り組んでいました。

次回おしどり学園のお知らせ

日時：令和3年1月15日（金）午前9時30分

場所：町公民館／講演内容：「防犯について」

講師：黒坂警察署 根雨駐在所

警部補 佐蔵直樹さん

地域の子どもは地域で見守り育てよう

～「冬休みの生活について」日野町青少年育成会からのお願い～

もうすぐ冬休みです。お年玉をもらい、子どもたちがお金を使う機会も増え、日常とは違う解放感が広がります。子どもたちを安全に健やかに育てるため、地域の皆さん自らあいさつをしたり、手本になる行動を示したりして、どの子も我が子と同じように接し、地域で見守り育てましょう！

町内の学校の冬休み期間

小中学校 12月25日（金）～1月6日（水） / 日野高校 12月22日（火）～1月5日（火）

■『凡事徹底』

「あいさつをする」「返事をする」「履き物をそろえる」…どこでも当たり前のことを徹底しましょう。

■『家庭で育む「生きる力」』

家族のきずなを深めましょう…温かい言葉で心が元気！

早寝・早起き・朝ごはん…規則正しい生活で体が元気！

■『いつでも、どこでも地域の子どもに目を』

・「褒める」と「叱る」を上手に使いましょう ・地域の子どもは地域で育てましょう

・ルール違反に見て見ぬ振りをせず、迷わず注意をしてください

■毎月第3日曜日は「家庭の日」

温かい雰囲気の中で、家族の対話を図りましょう。

あの子もこの子も地域の宝 ひと声かけて育てよう

青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば子どもも変わる」県民運動実施中！

第54回「青少年育成鳥取県民大会」に参加して

日野町公民館長 神庭賢一

11月8日、米子市淀江文化センターにおいて、第54回「青少年育成鳥取県民大会」が開催されました。最初に、青少年のSNSトラブル防止標語コンテストの表彰がありました。団体の部では、鳥取市浜村小学校6年生「チームHOT」が最優秀賞に選ばれました。その内容を以下に紹介します。

『とりのからあげ』

『と』もだちがきずつく事をしない。

『り』よう時間を決めよう。

『の』せない個人情報。

『か』きんしない。

『ら』いんは相手のことを考えて送信。

『あ』わないSNSで知り合った人。

『げ』（ゲームソフト）の年齢制限をする。

次に、第12回「家庭の日」絵画・ポスター作品、「少年の主張鳥取県大会」優秀者の表彰がありました。絵画・ポスターはロビー展示。作文は、県知事賞に輝いた鳥取市桜ヶ丘中学校3年生の谷口真緒

さんが「母のお弁当」と題して発表をされました。

最後には記念講演があり、前鳥取県図書館協会会長の山田晋さんが、「家庭が変化し、家庭教育が変わる」と題し、講演を行いました。

明治維新、第二次世界大戦を経て、家族の在り方も大きく変化しています。3世代同居から核家族、自由な家族制度へと、民主主義がもたらした成果とは裏腹に人間関係の希薄化が進み、子どもたちの世界にも不登校という大きな課題が浮き彫りになってきています。

山田さんは、今後、家庭教育の在り方を中心にどうしていけばいいのかを豊富な経験をもとに語り、「我々青少年育成に関わる関係者も、ともに考えていただきたい」と結びました。大きな宿題もいただきましたが、とても考えさせられる素晴らしい講演でした。

